

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

海のリゾート沖縄県は、広い海に散らばった160の島々から成り、沖縄本島の他、地域性溢れる46の島に今も人が住んでいます。

そんな個性的な離島への誘客を促進するために一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー様が実施されている旅行者・メディア招聘事業に、KBSエンタープライズも参加させて頂くこととなり、慶良間諸島の座間味村へ行ってまいりました。

今号と次号では、座間味村観光協会や現地の方々によって造成された、島の魅力的な資源がふんだんに盛り込まれたモデルコースの内容をレポートします。どうぞご高覧下さい。

プランナー 長濱佳子



## KBSエンタープライズの旅行流通事業・沖縄事業

### 「世界が恋する海」を擁する国立公園 沖縄県・座間味村へ行ってまいりました。〈前編〉 2019年2月13日(水)～15日(金)



#### ■座間味村の概要



##### フェリーざまみ

海の交通は荒天による欠航が気になりますが、フェリーざまみの就航率は平均90%超。船底のフィンで自動制御する「フィンスタビライザ」という技術によって揺れも少なく快適です。

2016年に就航した新しい船の内部は段差やトイレなどの設計にユニバーサルな配慮が施されています。

座間味村(ざまみそん)は、沖縄本島から南西に約40kmのところの位置し、大小20余りの島々を有する面積16.87km<sup>2</sup>の離島村です。平成26年3月5日(サンゴの日)に31番目の国立公園として指定された慶良間諸島国立公園のほぼ西半分を占めており、有人島は座間味島、阿嘉島、慶留間島の3島で、村全体の人口約930人の内、約600人が座間味島に居住しています。

『ケラマブルー』と呼ばれる世界屈指の透明度を誇る美しい海と数々の熱帯魚にいろどられた海中景観は国内外のダイバーを魅了し、12月末から4月頃まで北の海から繁殖と子育てのために訪れるザトウクジラと出会えるホエールウォッチングは沖縄の冬の風物詩となっています。また、島々に囲まれた内海は豊かなサンゴ礁が生き物を育む海域として平成17年にラムサール条約湿地に指定されており、座間味村は世界的にも貴重な自然の宝庫となっています。

明治時代に沖縄で初めて創設され座間味村の基幹産業となっていた鰹漁業は後継者不足により途絶え、現在は産業の9割を観光業が占めています。

座間味島への交通は那覇から高速船で50分、フェリーで2時間となっており、沖縄県の中でも船旅を楽しみながら気軽に訪れることのできる離島村といえるでしょう。

#### ■鯨についてのレクチャー

コースのキックオフは、島で長年ビジターを案内してきたダイビングショップ、『ダイブハウスヤドカリ』の店長 宮里清司氏からの鯨についてのレクチャーです。

座間味島の鯨は大手企業による乱獲の後壊滅状態に陥り、20年以上姿を消していましたが、1985年に二頭の鯨が島人

によって確認された後、WWF(世界自然保護基金)の調査を経て座間味村ホエールウォッチング協会が設立され、翌年1992年よりツアーが開始されました。村では時間や距離の制限等、鯨の繁殖や出産、子育てを守るための自主ルールのもと、鯨にも自然にも優しいホエールウォッチングが実践されて

います。

船が出航した場合の鯨の遭遇率はなんと97.5%。その秘密は座間味の海を知り尽くしたベテランの船長と探鯨員の方々にあり、専門の探鯨員の方が展望台から双眼鏡を使って鯨の居場所を探し、ピンポイントでウォッチング船を誘導するという、確実に、効率的に鯨と出会うことができる仕組みになっています。さらにこの方法により、一頭もしくは一群の鯨に船が集中せず、

鯨へのストレスも大幅に軽減されること。

また、協会は『個体識別調査』の仕事も担っており、尾びれの模様や形から個体を識別し、生息数や回遊域の特定を行うことでザトウクジラの生態を調査しています。座間味島で28年以上確認されている鯨も数頭おり、尾びれに《Z》の文字が見られるクジラは島の人たちに「ゼット」と呼ばれ愛されています。

## ■ホエールウォッチング

ホエールウォッチング当日は朝から快晴です。

陽の光に輝き澄み渡る海を15分程進んだところで船が減速。まだ姿は見えなくても近くに鯨がいることを感じ心が躍りだします。

数メートル先に潮が上がり、興奮と同時にシャッターチャンスを見逃してはならないと緊張が走る中、生まれて初めての鯨との出会いに感動を覚えます。

しばらくするとまた遠方に鯨の姿が。グレート船長と探鯨員の方の密な連携のもと、5～10分に一度位のペースで数頭の鯨と出会います。

水しぶきの方向に目をやると船の近くで鯨が水面を叩いています。ダイナミックな鯨の動きに圧倒されているうちに反対の方向からまた別の鯨が登場！皆すっかり童心に返りあちこちから感嘆の声。いつの間にか3頭の鯨が間近で潜ったり跳ねたり、私たちを歓迎してくれているかのようでした。



## ■島歩き・集落散策

2つ目のアクティビティは、現地ガイドの方々の案内による島歩きと集落散策です。

生まれも育ちも座間味島の生粋の島人、大城晃氏と、大城氏が代表を務める「アイランドパワー」の加藤七瀬氏の案内で、座間味村の中心集落「座間味区」の集落内から村内の島々が一望できる「高月山」まで、往復二時間のトレッキング。

港を出て全長150mの村内唯一の県道を歩き始めたところに座間味村役場があります。座間味島は、明治時代に沖縄で初めて鰹漁業を始めた島。創始者は今も島民に尊敬され、役場の前には顕彰碑が建立されています。

集落を抜けた山の裾には慰霊碑が。座間味島は太平洋戦争時に沖縄本島に先立ってアメリカ兵が最初に上陸した土地で、村長を含めた村の首脳部とその家族住民が集団自決をしたという悲しい歴史をもっています。今回は工事中で見ることができませんでしたが、高月山中腹の美しい海を見渡す高台に建立された「座間味村平和の塔」には軍人民間人あわせて1,320柱の英霊が平和の守り神としておまつりされているとのこと。

内地より一足先に咲く沖縄の寒緋桜他、内地ではあまり見られない植物や珍しい蝶のオオゴマダラを観察し、ガイドの方々の掛け合いを楽しみながら30分ほど歩いていくと、目的地の「高月山公園」に到着。海拔約137mの高月山にある高月山公園は座間味島のほぼ中央に位置する景勝地です。

第一展望台からは琉球王国時代に中国諸王朝と貿易を行い座間味が海上交通の要衝となっていた頃、風待ち港として利用されていた阿護の浦が目前に広がり、第二展望台から望む美しい海には慶良間諸島の他、遠くに沖縄本島や数々の島が浮かびます。

山を下り港に戻って、海の安全を司るいびぬめい（海のみえ）神社で手をあわせ、トレッキングツアーは終了です。座間味島はとても信仰の篤い島で、集落内の随所に赤色の鳥居をもつ拝所がみられます。現在も旧暦に沿った神事が毎月行われており、海洋民族として今なお村民が大切に受け継いでいる秋の海御願（うみうがん）ではいびぬめい神社が拠点となり、大漁旗が飾られるそうです。

海が美しくマリナクティビティが豊富な島という側面だけでなく、島の歴史や生活、島の人たちが大切にしてきた信仰など、楽しみながら座間味島の奥の深さに触れられた感慨深いひとときでした。

次号は座間味村のもう一つの島、阿嘉島についてお伝えします。ご期待下さい！



### 編集 後記

「世界が恋する海」沖縄県・座間味村からのレポートは、島の魅力的な資源がふんだんに盛り込まれたモデルコースの紹介。広い海に160の島々から成り、沖縄本島の他、地域性溢れる46の島に人が生活しているという。あちらからも、こちらからも水しぶきが上がり鯨たちと出会うホエールウォッチングや、島の歴史や生活に触れることのできる島歩きなど、読むだけでも今すぐに訪れたいくなりますね。次号も楽しみです。（増田）

## KBS グループ

株式会社 KBS 創研 経営革新等支援機関 近財金1第241号 20130528 近畿第74号

株式会社 KBS エンタープライズ 兵庫県知事登録旅行サービス手配業 第18号

関西本社：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町3丁目1-5-203 TEL:06-6423-5561/FAX:06-6423-5571

東京本部：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目23-1-766 TEL:050-3452-2488

沖縄オフィス（KBS エンタープライズ）：〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1-18 T&C泊ビル4階 TEL:098-917-0117/FAX:098-943-1501